

安全データシート

整理番号. AA9974456-0000-J006

1. 製品及び会社情報

【製品情報】

製品名 : 水性つやありキング 水色
製品説明 : 合成樹脂エマルジョン塗料 (水性形)
用途 : 屋内外の鉄部、木部、モルタル用

【会社情報】

会社名 : シントーファミリー株式会社
住所 : 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3 丁目 1 7-2 0
作成部門 : 開発部
作成責任者 : 八木 一夫
作成部門電話番号 : 03-5155-3770
作成部門FAX番号 : 03-5155-3781
発行管理部門 : 開発部
発行管理責任者 : 開発部長
電話番号 : 03-5155-3770
作成・改訂日 : 2022/06/28

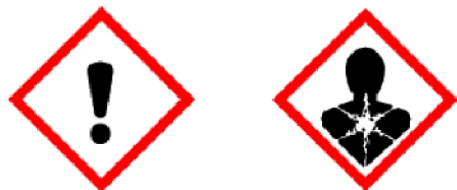
2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

エアゾール : 区分に該当しない
引火性液体 : 区分に該当しない
可燃性固体 : 区分に該当しない
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない
有機過酸化物 : 区分に該当しない
金属腐食性化学品 : 区分に該当しない
急性毒性 経口 : 分類できない
経皮 : 分類できない
吸入(ガス) : 区分に該当しない
吸入(蒸気) : 区分に該当しない
吸入(粉塵、ミスト) : 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 2 (中枢神経系、血液系、腎臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 2 (呼吸器、肝臓)
誤えん有害性 : 分類できない
水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHSラベル要素】

[絵表示]



[注意喚起語]

警告

[危険有害性情報]

- ・ 強い眼刺激
- ・ 臓器の障害のおそれ

安全データシート

整理番号. AA9974456-0000-J006

- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[注意書き]

《安全対策》

- ・粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

《応急措置》

- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

《保管》

- ・施錠して保管すること。

《廃棄》

- ・内容物／容器を国／都道府県／市町村の規制に従って許可を受けた産業廃棄物処理業者と契約して破棄すること。

3. 組成・成分情報

成分名	CASNo.	含有率	PRTRNo.
酸化チタン	13463-67-7	15～20%	
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	1～5%	
エチレングリコール	107-21-1	1～5%	
フタロシアニンブルー	147-14-8	0.1～1%	

4. 応急措置

[目に入った場合]

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分間以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ早く医師の診断を受けること。

[皮膚に付着した場合]

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

[吸入した場合]

- ・蒸気、ガス、粉塵等を大量に吸込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は吞み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受けること。
- ・当該SDSや容器のラベルを、医師に示して診療を受ける。

[飲み込んだ場合]

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないようにする。

5. 火災時の措置

[使用可能消火剤]

水 [－] 炭酸ガス [－] 泡 [－] 粉末 [－] 乾燥砂 [－]

[消火方法]

- ・このもの自体には可燃性はない。

6. 漏出時の措置

- ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を使用する。
- ・漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をすること。

安全データシート

整理番号: AA9974456-0000-J006

- ・河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。水で洗浄等も、河川等への排出で、環境汚染を引き起こす恐れもあるので注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い上の注意]

- ・換気の良い場所で取扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- ・取扱後は手・顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

[保管上の注意]

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

[組成物質の有害性及びばく露濃度基準]

化学物質名	管理濃度	ACGIH	IARC	その他の有害性
酸化チタン		10mg/m3	2B	LD50経口 20000mg/kg
ジエチレングリコールモノブチルエーテル				LD50経口 5080mg/kg
エチレングリコール		100ppm		LD50経口 4000mg/kg
フタロシアニンブルー				

(注：空欄は情報がないか、該当しないことを意味する。)

[設備対策]

- ・屋内作業の場合は、自動機器等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
- ・取扱場所は給排気が充分にとれる設備とすること。

[保護具]

《呼吸器の保護》

- ・防塵マスクを着用する。
- ・その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

《目の保護》

- ・適切な保護の出来る保護メガネを着用する。

《皮膚の保護》

- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

《その他の保護》

- ・情報なし

9. 物理的及び化学的性質

状態	： 液状 粘稠
色	： ライトブルー
沸点	： 情報なし
密度	： 1.2
臭気	： わずかな溶剤臭がある。
蒸気圧	： 情報なし
pH値	： 8.5
その他	： 特になし。

10. 安定性及び反応性

引火点	： 無し
発火点	： 情報なし
爆発限界	： 情報なし

安全データシート

整理番号: AA9974456-0000-J006

[保管取り扱い条件(温度・光)]

- ・ 常温での反応性はない。

[接触混合により危険性のある物質]

- ・ 特に情報を有していない。

[燃焼などによる有害ガス発生]

- ・ NO_x、CO₂が発生する。

[焼付乾燥による有害ガス発生]

- ・ 該当しない。

[その他の危険性情報]

- ・ 特に情報を有していない。

11. 有害性情報

[有害性情報]

急性毒性 経口 : 無し

経皮 : 無し

吸入(粉じん／ミスト) : 無し

皮膚腐食性／刺激性 : 無し

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 有り アンモニア水(区分2)、2-アミノ-2-メチルプロパノール(区分2)、エチレングリコール(区分2)、臭素酸ナトリウム(区分2)、酸化チタン(区分2)、エタノール(区分2)、ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)(区分2)

呼吸器感作性 : 無し

皮膚感作性 : 無し

生殖細胞変異原性 : 無し

発がん性 : 無し

生殖毒性 : 無し

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 有り エチレングリコール(区分2)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 有り ジエチレングリコールモノブチルエーテル(区分2)

誤えん有害性 : 無し

[組成物質に関するその他の有害性情報]

- ・ 特に情報を有していない。

[製品に関する有害性情報]

- ・ 製品としての安全性試験は行っていない。
- ・ 建築基準法 ホルムアルデヒド 放散等級 F☆☆☆☆

12. 環境影響情報

[一般注意事項]

- ・ 漏洩した時や廃棄の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱には注意をすること。

[水生環境有害性 短期(急性)]

- ・ 情報なし

[水生環境有害性 長期(慢性)]

- ・ 情報なし

[生態毒性]

- ・ 情報なし

[残留性／分解性]

- ・ 情報なし

[生物蓄積性]

- ・ 情報なし

[土壌中の移動度]

- ・ 情報なし

[オゾン層への有害性]

- ・ 情報なし

安全データシート

整理番号. AA9974456-0000-J006

13. 廃棄上の注意

- ・使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
- ・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

14. 輸送上の注意

- ・共通：取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- ・陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
- ・海上輸送：船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。
- ・航空輸送：航空法の定めるところに従うこと。
- ・運送に際しては、容器を直射日光にさらさないこと。転倒、落下、損傷及び水ぬれが無いよう注意すること。
- ・国連番号：該当しない

15. 適用法令

- ・労働安全衛生法

16. その他の情報

[主な引用文献]

- ・日本塗料工業会編集「SDS用物質データベース（塗料用）」
- ・溶剤ハンドブック（講談社）
- ・産業中毒便覧（医歯薬出版）
- ・化学商品（化学工業日報社）
- ・GHS対応 労働安全衛生法 MSDS対象物質全データ（化学工業日報）

[注意]

- ・危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱については十分注意してください。
- ・この安全データシートは、作成・改定日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により断りなく改定されることがあります。